

主題：一神に目を向け、神に信頼し、神の支配のうちに生きる―
目標：一人の評価ではなく、全てを知って、愛して養って下さる神に信頼する者となる―

2021/7/21
キリスト伝
I ガリヤ伝道⑫
マタイ 6:1～34 p9

「山上の垂訓 4」

主イエスは続いて「天の父なる神の子」の具体的な生き方について語られた。

主イエスの救いがないとき、人の人生の中心は地上に宝を蓄えることである。しかし主イエスを信じるなら、神様と繋がり、目に見えない神様の前の人生を、どう生きるかが分かって来る。

ユダヤ人は神に喜ばれるために律法を守り、施しや祈り、断食という行動をしなければならなかったと考えていた。しかし神様との繋がりがなかったので、いつの間にか人の称賛や名声に心を奪われ、自分を喜ばせる事だけを求めてしまっていた。また神様が分からない多くの人々は、将来の不安と日々の生活を心配し、思い煩い、光のない暗い日々を過ごしていたのである。

主イエスは全てを与え、祝福して下さる父なる神の大きな愛を知り、父である神様を意識し、心配しないで、全てのことを委ねて生きることの大切さを語られたのである。

[聖書の学び]

I、主なる神に喜ばれる具体的な生き方

1、隠れたところで見ておられる神の大きい報いを得るために。(マタイ 6:1～18)

「人前で善行をしないように気をつけなさい」(v1)

(ユダヤ人にとって善行(施し、祈り、断食)は自分の信仰を外に表す行為だった。)

① 主イエスは善行をするなといわれたのではない。(マタイ 5:7)

② 人からの報いを受けたら、天の父なる神の報いは受けられない。(v2)

③ 隠れたところを見ておられる神の、報いを受ける方法。(v4)

◎施しをするとき--- 人に知られないように、隠れたところでしなさい。(v3～4)

↓

右手と左手のように近い人にも知られないように。

◎祈るとき---- 人前で祈るな、くどくど同じ言葉で祈らない。

↓

家の奥で戸を閉めて祈る・・・「主の祈り」を見本として祈る

(v9～15)

◎断食するとき--- 人に断食していることがわからないように。(v16～18)

↓

頭に油、顔を洗って、元気そうにしている。

2、天の父なる神様をあてにして生きる (マタイ 6:19～32)

「自分のために、天に宝を蓄えなさい」(v20)

- ① 宝のあるところに人の心がある (v21)
- ② 神と富に両方仕える事はできない。---どちらか一方しかない。(v24)
- ③ 地上の富、物質は、必ず古び、やがて無くなる物である (v19,20)

- ④ 天の父は地上にいる私たちを養って下さる (v25~31)

◎天の父なる神は、私たちのいのちと身体を顧みてくださる。

見本として・・・空の鳥(v26)

これらより 価値がある

野の花(v28~30)

◎いのち--- 神様が握っておられ、私たちは延ばせない。(v27)
(いのちを維持するのに必要な物全てを、各々に応じて与えてくださる)

◎心配しすぎないように--- 神は私たちに何が必要なのか知っておられる。

3、天の父なる神の子の生き方 (マタイ 6:33~34)

(1) 第一に神の国を求めよ (神の国：神の支配の及ぶところ)

- ①神の主権、支配に従って生きる。
- ②神の計画・・・神を信じる人が起こされ、救いが広がるように祈り求める。(I テモテ 2:4)
p419
- ③救い主イエスの再臨によって実現する神の国を求める。(II ペテロ 3:9~12 p476)

(2) 第一に神の義を求めよ (神の義：公正・公平な神の標準)

- ①自分自身がまずイエス・キリストによる義を着せていただく。(ローマ 5:9 p304)
- ②自分の標準ではなく、神の標準に照らして正しいことを求めて生きる。
(エペソ 4:23,24 p389)

* ディスカッション (心を開いて話し合ってみましょう)

Q. 私たちは人の言葉や評判を気にし、人と比較して一喜一憂していませんか。

Q. 毎日ちょっとしたことですぐ心配になったりするときどうしたらいいでしょうか。

Q. 今日学んだことについて、思うこと、教えられたことを、分かち合いましょう。